

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
地域母子保健論	2	前期	2	講義 30時間
担当教員	久保幸代、根岸雄子、國吉祐史、吉田文子、長谷川咲千香			
授業概要	地域で生活する妊産褥婦・新生児とその家族を対象とした、集団や地域のケアに関する概念・理論を理解し、地域母子保健の現状と課題、保健医療福祉の連携、助産師の役割について考察する。			
到達目標	1. 地域で生活する女性及び、妊産褥婦・新生児とその家族を対象とした集団や地域のケアに関する概念・理論を理解できる。 2. 地域母子保健の現状と課題、保健医療福祉の連携、地域母子保健事業の創出・事業運営における助産師の役割について考察することができる。			
履修条件	特に指定しない。			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	地域母子保健の概念	久保	
	2	地域で生活する母子とその家族の現状	久保	
	3	地域母子保健の現状と課題	久保	
	4	地域母子保健事業における行政の助産師の役割	吉田	
	5	子育て世代包括支援センターの取り組み	長谷川	
	6	産後ケアにおける助産師の役割	根岸	
	7	産後ケアの現状と課題	根岸	
	8	地域で生活する妊産婦の産前産後のマイナートラブル	國吉	
	9	産前・産後のケアの実際	國吉	
	10	3-4か月の母子のアセスメント①	久保	
	11	3-4か月の母子のアセスメント②	久保	
	12	3-4か月の母子の助産計画の立案	久保	
	13	地域診断と母子健康の課題及び課題解決システムの立案①	久保	
	14	地域診断と母子保健の課題及び課題解決システムの立案②	久保	
15	地域診断と母子健康の課題及び課題解決システムの発表	久保		
教科書	特に指定しない			
参考書	毎回の授業で、テーマに沿って提示する。			
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する準備状況や授業中の発言内容等による評価(30%) ・試験・レポート課題に対する成績(70%) 			
事前・事後学習	事前学習：地域母子保健に関するについて課題を提示し、課題について調べ授業でグループ討議ができるよう準備する(1時間) 事後学習：地域母子保健の現状と課題と助産師の役割について考察し、レポートを作成する(2時間)			
備考	特になし			